

# シラバス

富山県立  
魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科	国語・現代の国語	2	第一学習社・高等学校新編現代の国語
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品・文章を通して、論理的な思考力と判断力、表現力を身に付ける。</li> <li>・自分の意見を正確にわかりやすく伝える力、相手の状況を考慮して発信する力を身に付ける。</li> <li>・読書する習慣を身に付け、豊かな人生の糧とする。</li> </ul>		
学期	学習項目(单元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい出会い 「『未知』はいくらでもある」「ナマケモノになる」</li> <li>・言葉が開く世界 「言語としてのピノグラム」</li> <li>・話して伝える 「話し方の工夫」「待遇表現」「論理的な表現」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実体験を踏まえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深める。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・ピクトグラムがもつ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。【知識・技能】【主体的】</li> <li>・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。【知識・技能】【主体的】</li> <li>・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。【知識・技能】【主体的】</li> </ul>	中間 期末 考查
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の風景 「十六歳のとき」「臆病な詩人、街へ出る」</li> <li>・話して伝える 「情報の探索と選択」「スピーチで自分を伝える」「理想の修学旅行をプレゼンする」</li> <li>・生活の中の表現 「法律の改正に関わる文章を読み比べる」</li> <li>・社会と人間 「弱いロボットの誕生」</li> <li>・書いて伝える 「書き方の基礎レッスン」「身近な製品の取扱説明書を作成する」「実用的な手紙文の書き方」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界には様々な出会いがあることを知る。【知識・技能】【主体的】</li> <li>・他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とする。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・必要な情報を探す方法を理解する。【知識・技能】【主体的】</li> <li>・自分の意見を大勢の聞き手に分かりやすく伝えるスピーチの方法を理解し実践する。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・情報を大勢の聞き手に分かりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連付けながら、理解したことをまとめる。【思考・判断・表現】【知識・技能】【主体的】</li> <li>・「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・表記・表現の基本ルールを理解する。【思考・判断・表現】</li> <li>・情報を的確に分かりやすく説明する方法を理解する。【知識・技能】</li> <li>・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し実践する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> </ul>	中間 期末 考查
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代と社会 「『材料科学』のゆくえ」</li> <li>・論理分析 「『間』の感覚」「日本語は世界をこのように捉える」「AIは哲学できるか」</li> <li>・書いて伝える。 「地域の魅力を紹介する」「社会に対する意見文を書く」</li> </ul> 適時 『1日10分言語力ドリル 書く』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料科学の革新が人類の進歩に大きく貢献したことを理解し、本文に示された未来像について関心を深める【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・論理の型(対比)を学ぶ。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・論理の型(具体と抽象)を学ぶ。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・論理の型(推論)を学ぶ。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・情報を的確に紹介する方法を理解する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>・国語便覧で、「表現」について理解を深める。【知識・理解】【主体的】</li> <li>・年間を通して問題集の学習を通して表現力の定着を図る。【知識・理解】【主体的】</li> </ul>	学 年 末 考 査
評価	考查成績を中心として、小テスト・提出物の状況を加味し、また授業態度なども含め総合的に判断する。		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科	国語・言語文化	2	第一学習社・高等学校 新編言語文化
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品・文章を通して考え方を深める。</li> <li>古文・漢文の基礎を学び、現代にも受け継がれている普遍的な価値や課題を学ぶ。</li> <li>読書する習慣を身に付け、豊かな人生の糧とする。</li> </ul>		
学期	学習項目(单元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文入門 「鳩と蟻のこと」</li> <li>古文に親しむ 「児のそら寝」</li> <li>小説を読む(二) 「羅生門」</li> <li>随筆を読む 「枕草子」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的仮名遣いについて、理解する。【知識・技能】【主体的】</li> <li>親しみのもてる内容の話に接することによって、古文への興味を持つことができる。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>興味深い説話に接し、古典の世界に生きる人々の心情や生活について理解する。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>登場人物の心理・行動を的確に読み取ることができる。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>時代小説という形の中に普遍的な人間心理が描かれていることを理解する。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>作者の季節感や美意識について理解し、描かれたものの見方・考え方の一端に触れるとともに、時代を超える人間の感性について理解する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> </ul>	中間 期末 考查
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文入門 「訓読に親しむ」</li> <li>故事成語「五十歩百歩」</li> <li>詩の楽しみ 「道程」「小景異情」</li> <li>小説を読む(三) 「鏡」</li> <li>和歌と俳句 「万葉・古今・新古今」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓点に従って、訓読できるようになる。【知識・技能】【主体的】</li> <li>句法を確認し、訓読について理解する。【知識・技能】【主体的】</li> <li>寓話を読んで漢文に親しみ、古代中国人の発想の面白さに触れる。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>文語詩の特徴を理解する。【知識・技能】【主体的】</li> <li>詩に描かれた情景とそこに込められた思いを理解する。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解くことができる。【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>俳句の鑑賞の仕方を習得する。【知識・技能】【主体的】</li> <li>調べや修辞技巧に留意しながら、和歌の鑑賞の仕方を理解する。【知識・技能】【主体的】</li> </ul>	中間 期末 考查
3 適時	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文に親しむ 「なよ竹のかぐや姫」</li> <li>故事成語 「狐借虎威」</li> <li>文学史</li> <li>基礎漢字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深めることができる。【思考・判断・表現】</li> <li>初期仮名物語に親しみ、伝奇性や心情描写の特色を捉えられる。【主体的】</li> <li>寓話を読んで漢文に親しみ、古代中国人の発想の面白さに触れる。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】</li> <li>国語便覧で、作家・作品などについて理解を深める。【知識・技能】【主体的】</li> <li>年間を通して問題集・小テストなどで漢字の力がつく。【知識・技能】【主体的】</li> </ul>	学年 末 考查
評価	考查成績を中心として、小テスト・提出物の状況を加味し、また授業態度なども含め総合的に判断する。		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科	公民・公共	2	第一学習社・高等学校公共 第一学習社・クローズアップ公共
学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸問題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及びよび社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		
学期	学習項目（单元名）	学習内容	考查範囲・課題
1	第1編 公共の扉	公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自立、人間と社会の多様性と共通性などに着目して、社会に参画する自立した主体とは何かを問い、現代社会に生きる人間としての在り方、生き方を探求する。 【知識・技術】【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	1 学期中間考查 1 学期末考查 夏季休業中課題
2	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 第2章 政治的な主体となる私たち 第3章 経済的な主体となる私たち	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸問題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追求し、解決する。 【知識・技術】【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	2 学期中間考查 2 学期末考查 冬季休業中課題
3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して現代の諸課題を探求する。 【知識・技術】【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	学年末考查 春季休業中課題
評価	1. 学習に取り組む姿勢（授業態度・発問への対応・授業ノート等） 2. 各学期中及び、夏季・冬季・春季休業中の課題への取り組み 3. 評価に関わる4つの観点（知識・技術、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）の習得状況を把握できる考查問題を作成する。1～3を総合的に評価する。		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
2 学年全科	地理歴史・歴史総合	2	実教出版・歴史総合 帝国書院・シンフォニア初訂版
学習 目標	近現代史を中心とするグローバル化する国際社会の歴史の展開を、日本史的世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などに関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、公民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。		
学期	学習項目（単元名）	学 習 内 容	考查範囲
1	第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成	江戸幕府の崩壊、明治政府の成立、立憲政治の確立という明治維新の結び付く世界の大きな流れを理解する。【関心・意欲・態度】【技能・表現】 どのような世界情勢のもとに、日本が開国に至ったのか、日本と世界という視野で、近代を理解する。【知識・理解】【思考・判断】	中間考查  1 学期末 考查  夏季休業 中課題
2	第4章 帝国主義の時代 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦	二度の世界大戦がなぜ起こり、どのような結果・影響をもたらしたのかを理解する。 【思考・判断】【関心・意欲・態度】【技能・表現】【知識・理解】	中間考查  2 学期末 考查  冬季休業 中課題
3	第7章 冷戦と脱植民地化 第8章 多極化する世界長 第9章 グローバル化と現代世界	日本の国内政治の動向や、国際社会における日本の行動は、世界史の流れと密接な関係があることを理解する。 【関心・意欲・態度】 終戦後、連合国の占領を受けた日本がどのように復興を果たしていくのか、世界情勢との関わりから理解する。【知識・理解】 経済大国となった日本の課題と、国際社会に果たすべき役割について理解することができ、さらに、そのなかで、個人として果たすべき役割についても考える。【技能・表現】【思考・判断】	学年末 考查  春季休業 中課題
評価	1. 学習に取り組む姿勢（授業態度・発問への対応・授業ノート等） 2. 各学期中及び、夏季・冬季・春季休業中の課題への取り組み 3. 評価に関わる4つの観点（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解）の習得状況を把握できる考查問題を作成する。1～3を総合的に評価する。		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
3 学年全科	公民・現代社会	2	実教出版・最新現代社会 新訂版 実教出版・2023 ズームアップ現代社会資料 新訂版
学習 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の基本的な問題として、地球環境問題などを取り上げ、現代社会を捉える枠組みとしての幸福、正義、公正の観点を理解する。</li> <li>・青年期の自己形成の課題について考えるとともに、よりよく生きることを追求した先哲の基本的な考え方を理解する。</li> <li>・民主政治の基本的な考え方を理解し、現代の政治の諸課題について考察する。</li> <li>・現代の経済のしくみを理解し、日本経済の現状と諸課題について考察する。</li> </ul>		
学期	学習項目（単元名）	学習内容	考查範囲・課題
1	第1部 わたしたちの 生きる社会 第2部 現代の社会と 人間 1 青年期と自己形成 (郷土史 富山の風土と 伝統文化)	地球環境問題と資源・エネルギー、生命化学と情報技術の進展について、幸福・正義・公正の観点から考え、自分の意見を書き、発表する。 <b>【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】</b> 青年であること、社会とのつながりについて、自己の課題として関心をもち、よりよく生きることが大切であることを理解する。 <b>【関心・意欲・態度】</b>	1 学期中間考查  1 学期末考查  夏季休業中課題
2	2 現代の民主政治と 日本国憲法  3 現代の経済社会と 国民生活  (郷土史 戦後の復興か ら現代へ)	民主政治の基本原則について、その内容と意義に関心をもち、考える。 <b>【関心・意欲・態度】</b> <b>【知識・理解】</b> 現代社会における法の働きなどについて学び、裁判員制度に代表される国民の司法制度の意義について考える。 <b>【関心・意欲・態度】</b> 市場と財政制度、金融の役割を理解するために、図版などの資料を適切に活用する。 <b>【資料活用の技能】</b> 変化する日本経済を捉え、日本の財政問題について、考える。 <b>【思考・判断・表現】</b>	2 学期中間考查  2 学期末考查 冬季休業中課題
3	4 国際社会と人類の 課題  (郷土史 国際社会の中 で)	第二次世界大戦後の国際経済枠組みとその変化など、グローバル化する国際経済について資料を基に考察する。 <b>【資料活用の技能】</b> 国際社会の成り立ちや現状と課題について自分なりにまとめ、発表する。 <b>【思考・判断・表現】</b>	学年末考查 春季休業中課題
評価	1. 学習に取り組む姿勢（授業態度・発問への対応・授業ノート等） 2. 各学期中及び、夏季・冬季・春季休業中の課題への取り組み 3. 評価に関わる4つの観点（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解）の習得状況を把握できる考查問題を作成する。1～3を総合的に評価する。		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科	数学・数学 I	3	数研出版・最新 数学 I
学習目標	中学校までに学んできた数学を復習しながら、数と式、2 次関数、図形と計量及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。		
学期	学習項目(単元名)	学習内容・観点別評価規準 [知]: 知識・技能 [思]: 思考力・判断力・表現力 [主]: 主体的に学習に取り組む態度	考查範囲
1 学期	第 1 章 数と式 第 1 節 数と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>同類項をまとめて、整式を整理する。[知]</li> <li>指数法則を理解し、計算に用いる。[知]</li> <li>分配の法則や展開の公式を用いて、式を展開する。[知] [思]</li> <li>共通因数のくくり出しや因数分解の公式を用いて、式を因数で分解する。[知]</li> <li>式の特徴に着目して複雑な式の因数分解に取り組む。[主]</li> <li>有理数と無理数の違い、実数について理解する。[知]</li> <li>平方根を含む式の計算や分母の有理化の方法について理解する。[知] [思]</li> <li>不等式の解法を理解し 1 次不等式や連立不等式を解く。[知]</li> <li>身近な問題を、1 次不等式を用いて解決する。[思] [主]</li> </ul>	中間 考 査
	第 2 節 1 次不等式 第 2 章 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合をそれぞれの場合に適した形で表す。[思]</li> <li>部分集合、空集合、2 つの集合の包含関係を理解する。[知]</li> <li>共通部分、和集合、補集合を求める。[知]</li> <li>ド・モルガンの法則に関心をもち、考察する。[主]</li> <li>命題の真偽を、集合や反例などを用いて判定する。[知]</li> <li>必要条件、十分条件、否定の意味を理解する。[知]</li> <li>対偶や背理法を用いれば難しい命題も証明できることに興味・関心をもつ。[思] [主]</li> </ul>	
2 学期	第 3 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>y=f(x)</math> や <math>f(x)</math> の表記を理解し、関数の値 <math>f(a)</math> を求める。また座標平面について理解する。[知] [思]</li> <li>放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べる。[主]</li> <li>2 次関数のグラフの特徴や、頂点、軸について理解し、考察する。[知] [思]</li> <li>平方完成により式を変形し、そのグラフを描く。[知]</li> <li>2 次関数が最大値や最小値をもつことを、グラフを使い理解する。[思]</li> <li>定義域が限られた場合で、2 次関数の最大値、最小値を求める。[思]</li> <li>2 次関数のグラフと <math>x</math> 軸との共有点の <math>x</math> 座標を求める。また、グラフと <math>x</math> 軸の位置関係の条件を <math>D=b^2-4ac</math> の符号から考察する。[思]</li> <li>2 次関数のグラフを利用して、2 次不等式を解く方法を理解し、2 次不等式を解く。[知] [思]</li> </ul>	中 間 考 査
	第 2 節 2 次方程式と 2 次不等式 第 4 章 図形と計量 第 1 節 三角比	<ul style="list-style-type: none"> <li>直角三角形において <math>\tan A</math>、<math>\sin A</math>、<math>\cos A</math> の値を求める。[知]</li> <li>三角比を使って、直接測ることのできない距離などの求め方を考え、距離や高さを求める。[知] [主]</li> <li>三角比の相互関係を用いて、三角比の 1 つの値から残り 2 つの三角比の値を求める。[思]</li> <li>座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解する。[思]</li> <li>鈍角の三角比の値を求める。[思]</li> <li>正弦定理を用いて三角形の外接円の半径や辺の長さを求める。余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求める。[知]</li> <li>2 辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積や、3 辺の長さが与えられた三角形の面積を求める。[知]</li> </ul>	
3 学期	第 5 章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用する。[思] [主]</li> <li>身近な統計における代表値の意味について考察する。[主]</li> <li>平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、求める。[知]</li> <li>範囲の定義やその意味を理解し、それを求め、データの散らばりを比較する。[知] [思]</li> <li>分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、それらに関する公式を用いて、分散、標準偏差を求める。[知] [思]</li> <li>四分位範囲の定義やその意味を理解し、それを求め、データの散らばりを比較する。[知] [思]</li> <li>箱ひげ図を描き、データの分布を比較する。[知] [思]</li> <li>相関係数の定義とその意味を理解し、それを求める。[知]</li> </ul>	学 年 末 考 査
評価	授業態度や発問評価、課題・副教材等の提出物の確認、小テスト・定期考査・課題テスト等の結果、課題研究に対する意欲・関心等を基に、総合的に評価する。		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書名
1 学年全科	理科・科学と人間生活	2	科学と人間生活（数研出版）
学習目標	1. 観察、実験などを通して、身近な事物・現象についての知識を身に付けるとともに、科学技術と人間生活との関わりを理解する。 2. 人間と自然の関係について考察し、自然に対する総合的な見方や考え方を育成する。		
学期	単元名	学習内容	考查範囲
1 学期	序論 科学技術の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>灯り、通信、交通、コンピュータ、農業、食品、医療、防災、エネルギーの歴史について時系列的に学び、科学技術が時代とともに進歩し、人間生活を豊かで便利にしてきたことや人間生活に不可欠であることを理解する。</li> <li>【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	中間 考查
	1 編 物質の科学	「1 章 材料とその再利用」を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>金属に特徴的な性質を理解し、その性質を利用した身近な例を学ぶ。</li> <li>プラスチックの種類とその性質、用途について整理して学び、身近なプラスチック製品の知識を身に付ける。</li> <li>資源の有限性と再利用の重要性を理解する。</li> <li>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	期末 考查
2 学期	2 編 生命の科学	「1 章 ヒトの生命現象」を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>DNA とタンパク質の構造を学び、DNA の塩基配列の情報からタンパク質のアミノ酸配列が決定されることを理解する。</li> <li>免疫やホルモンなど、ヒトの体内での反応と健康の関係を学ぶ。</li> <li>ヒトの目の構造と光刺激に対する応答を理解する。</li> <li>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	中間 考查
	3 編 光や熱の科学	「1 章 光の性質とその利用」を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>光の性質とヒトの色覚について学び、光についての興味を深める。</li> <li>波としての光がもたらす現象を理解する。</li> <li>光は電磁波であることを知る。また、電磁波が波長により種類が異なることを認識し、日常生活の中でどのように利用されているかを知る。</li> <li>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	期末 考查
3 学期	4 編 宇宙や地球の科学	「2 章 自然景観と自然災害」を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>地球や太陽が身の回りの景観をつくったことを理解する。</li> <li>自然災害の原因や実例を学び、自然災害から身を守るための対策、心構えを身に付ける。</li> <li>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	学年 末 考 査
評価	学習意欲や学習態度、学習に取り組む姿勢などを評価する。 定期考査の成績、課題等提出物の内容、授業態度などで学習内容の理解度、定着度を評価する。		



## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
2 学年機械科・電気科・ 情報環境科電子機械コース	理科・物理基礎	2	第一学習社・高等学校 新物理基礎
学習目標	<p>1 身の周りで見られる様々な物理的な事物・現象を知る。</p> <p>2 その事物・現象を探究するための方法としての観察・実験の方法・態度を身に付ける。</p> <p>3 これらを通して、事物・現象の背後にある物理の原理・基本法則を学び、論理的な考え方を養い、自然の美しさ・物理のおもしろさ・楽しさを知り、科学的な自然観を学ぶ。</p>		
学期	単元名	学習内容	考查範囲
1 学期	第Ⅰ章 力と運動 第1節 物体の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の法則、力の種類、力の記述方法について理解し、問題を通して、物体の運動を定量的に扱うことに慣れる。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】</li> <li>物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解し、計算する。【知識・技能】</li> <li>実験を通して、物体が落下する際の運動の理解を深め、等加速度運動の計算をする。 【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	中間 考查
2 学期	第2節 力と運動の法則  第3節 仕事と力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>力の記述方法を理解し、弾性力、摩擦力を図に表すことで物体に働く複数の力を考える。 【知識・技能】【思考・判断・表現】</li> <li>力の合成・分解など、運動の概念を図やグラフで表す。 【思考・判断・表現】</li> <li>運動方程式について理解し自らの力で運動方程式を立てる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>仕事とは何か。表面上の日常概念と物理概念の違いを理解する。【知識・技能】</li> <li>エネルギーとは何か。エネルギーを測る物差しとしての仕事を学び、計算ができるようになるとともに、仕事の原理を理解する。【知識・技能】【思考・判断・表現】</li> <li>実験を通して力学的エネルギーが保存されることを確かめる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	期末 考查  中間 考查  期末 考查
3 学期	第Ⅱ章 熱 第1節 熱とエネルギー  第Ⅲ章 波動  第Ⅳ章 電気	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱移動及び熱と仕事の関係を考え、内部エネルギーや熱効率の計算をする。【思考・判断・表現】【知識・技能】</li> <li>波の振る舞いについて、物体の運動との違う性質を観察し理解する。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>静電気について、電荷と電子の運動の観点から考える。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】</li> </ul>	学 年 末 考 査
評価	<p>学習意欲や学習態度、学習に取り組む姿勢などを評価する。</p> <p>定期考查の成績、課題等提出物の内容、授業態度などで学習内容の理解度、定着度を評価する。</p>		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書名
2 学年情報環境科 化学工業コース	理科・化学基礎	2	新編 化学基礎 (数研出版)
学習 目標	化学的な事物・現象に対する関心・探求心・理解力を育成するとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、化学的なものの見方を育成する。		
学期	単元名	学習内容	考査
1 学期	序編 化学の特徴	課題の発見・探求・解決の過程を通して、効果的な化学の活用方法や実験の基本操作を学ぶ。 【関心・意欲・態度】	中間考査
	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成	混合物と純物質 分離・精製法 (蒸留・分留、再結晶等) 元素 単体と化合物 同素体 元素の検出 物質の三態 粒子の熱運動 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	
	第2章 物質の構成粒子	原子 原子の構造 同位体 電子配置 イオン イオンの生成 元素の周期律 元素の周期表と元素の分類 同族元素 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	
2 学期	第3章 粒子の結合	イオン結合 イオンからなる物質 分子 共有結合 配位結合 電気陰性度と極性 分子間に働く力と分子からなる物質 高分子化合物 共有結合の結晶 金属結合 金属の性質 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	期末考査
	2 編 物質の変化 第1章 物質質量と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と物質質量 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	
3 学期	第2章 酸と塩基の反応	酸・塩基 水の電離と水溶液の pH 中和反応と塩 中和滴定 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	期末考査
	第3章 酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用—電池・金属の精錬— 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	
	終章 化学が拓く世界	化学基礎で学んだ物質の特徴や化学変化が身近なところで活かされていることに気付き、暮らしと化学の結びつきについて理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】	学年末考査
評価	学習意欲や学習態度、学習に取り組む姿勢などを評価する。 定期考査の成績、課題等提出物の内容、授業態度などで学習内容の理解度、定着度を評価する。		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

学年クラス	教科、科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科	保健体育・体育	2	大修館書店・現代高等保健体育
学習目標	<p>○運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	
1	<p>○体づくり運動</p> <p>○陸上競技(短距離走・長距離走)</p> <p>○球技(サッカー)</p> <p>○体育理論</p>	<p>○自分の体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解することができる。</p> <p>○健康の保持増進や体力の向上を目指すことができる。</p> <p>○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。</p> <p>○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。</p>	
2	<p>○球技(ソフトボール・テニス)</p> <p>○球技(バスケットボール・バレーボール)</p> <p>○体育理論</p>	<p>○自分の体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解することができる。</p> <p>○健康の保持増進や体力の向上を目指すことができる。</p> <p>○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。</p> <p>○自己の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。</p> <p>○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。</p>	
3	<p>○選択球技(バドミントン・卓球・球技)</p> <p>○体育理論</p>	<p>○自分の体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解することができる。</p> <p>○健康の保持増進や体力の向上を目指すことができる。</p> <p>○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。</p> <p>○自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができる。</p> <p>○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。</p>	
評価方法	<p>実技テスト及び自己評価ノートから次の観点で総合的に評価する。</p> <p><b>【知識・理解】</b> 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保している。</p>		
留意事項	1 学期に新体力テストを実施する。		

学年クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
2 学年全科	保健体育・体育	2	大修館書店・現代高等保健体育
学習目標	<p>○運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体づくり運動</li> <li>○陸上競技(短距離走・長距離走)</li> <li>○選択球技(サッカー・テニス)</li> <li>○体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の体に気付き、体力を高めたり、体ほぐしの運動を実践したりできる。</li> <li>○自分の能力に応じた目標記録を定め、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができる。</li> <li>○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。</li> <li>○自己のねらいに応じて運動技能を高めたり、実生活に生かす運動の計画を立てたりする方法を学ぶ。</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○球技選択(ソフトボール・サッカー・テニス)</li> <li>○球技選択(バスケットボール・バレーボール)</li> <li>○体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。</li> <li>○チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的に練習を工夫することができる。</li> <li>○自己の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。</li> <li>○自己のねらいに応じて運動技能を高めたり、実生活に生かす運動の計画を立てたりする方法を学ぶ。</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○選択球技(バドミントン・卓球・球技)</li> <li>○体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。</li> <li>○チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的に練習を工夫することができる。</li> <li>○自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができる。</li> <li>○自己のねらいに応じて運動技能を高めたり、実生活に生かす運動の計画を立てたりする方法を学ぶ。</li> </ul>	
評価方法	<p>実技テスト及び自己評価ノートから次の観点で総合的に評価する。</p> <p><b>【知識・理解】</b> 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保している。</p>		
留意事項	1 学期に新体力テストを実施する。		

学年クラス	教科・科目	単位数	教科書名
3 学年全科	保健体育・体育	3	大修館書店・現代高等保健体育 改訂版
学習目標	1 運動の楽しさを味わい、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を高める。 2 運動の実践を通じて、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を身に付ける。		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	
1	○体づくり運動 ○陸上競技(短距離走・長距離走) ○選択球技(サッカー・テニス) ○体育理論	○自己の体に気付き、体力を高めたり、体ほぐしの運動を実践したりできる。 ○自分の能力に応じた目標記録を定め、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができる。 ○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。	
2	○球技選択 (ソフトボール・サッカー・テニス) ○球技選択 (バスケットボール・バレーボール) ○体育理論	○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的に練習を工夫することができる。 ○自己の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。 ○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。	
3	○選択球技 (バドミントン・卓球・球技) ○体育理論	○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的に練習を工夫することができる。 ○自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができる。 ○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。	
評価方法	実技テスト及び自己評価ノートから以下の観点で総合的に評価する。 <b>【関心・意欲・態度】</b> 運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 <b>【思考・判断】</b> 課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫することができる。 <b>【運動の技能】</b> 自己の体力を高めるための運動を合理的に行うことができる。 <b>【知識・理解】</b> 運動の学び方と体力の高め方に関する知識を身に付ける。		
留意事項	1 学期に新体力テストを実施する。		

学年クラス	教科、科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科	保健体育・保健	1	大修館書店・現代高等保健体育
学習目標	<p>○個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>○健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>○生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	<b>I 現代社会と健康</b> 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康	<p>○健康水準の向上、疾病構造の変化は、個人や集団の健康についての考え方やその対策に変化をもたらしていることを理解する。</p> <p>○生活の質や生きがいを重視する新しい健康の考え方を、ヘルスプロモーションなどを例にして理解できるようにする。</p>	一学期末考查
2	10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	<p>○精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>○感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解できるようにする。</p> <p>○健康を保持増進するためには、適切な意志決定、行動選択が必要であり、それらには、個人の知識、価値観、心理状態や人間関係、社会環境が関連していることを理解する。</p>	二学期末考查
3	<b>II 安全な社会生活</b> 20 事故の現状と発生要因 21 安全な社会の形成 22 交通における安全 23 応急手当の意義とその基本 24 日常的な応急手当 25 心肺蘇生法	<p>○わが国における道路交通事故の状況を知り、具体的な事例を適宜取り上げ、事故には、車両の特性、当事者の行動や規範を守る意識、周囲の環境が関連していることを理解できるようにする。</p> <p>○交通事故を防止するためには、自他の生命を尊重する態度が重要であることを理解する。</p> <p>○日常生活で起こる傷害や熱中症などの疾病の際には、それに応じた基本的な応急手当の手順や方法があることを理解し、適切な手当てが実践できるようにする。</p>	学年末考查
評価方法	<p>定期考查の成績、課題等提出物の内容、授業の態度から次の観点で評価する。</p> <p><b>【知識・技能】</b> 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。</p>		
留意事項	養護教諭と連携を図り、効果的な指導が展開できるようにする。		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

学年クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
2 学年全科	保健体育・保健	1	大修館書店・現代高等保健体育
学習目標	<p>○個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>○健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>○生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	III 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康	<p>○生涯にわたって健康を保持増進するためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理を行うことが必要であることを理解する。</p>	一学期末考查
2	9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活  IV 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動	<p>○人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあるので様々な対策がとられていることを理解する。</p> <p>○学校や地域の環境を健康に適したものとするような基準が設定され、環境衛生活動が行われていることと食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活動が行われていることを理解する。</p>	二学期末考查
3	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	<p>○生涯を通じて健康を保持増進するには、我が国の保健・医療制度や機関について知り、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解する</p> <p>○自他の健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解する。</p>	学年末考查
評価方法	<p>定期考查の成績、課題等提出物の内容、授業の態度から次の観点で評価する。</p> <p><b>【知識・技能】</b> 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。</p>		
留意事項	<p>養護教諭と連携を図り、効果的な指導が展開できるようにする。</p>		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科選択	芸術・音楽 I	2	教育芸術社・高校生の音楽 1
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌や器楽の演奏を通して、表現する喜びを味わう。</li> <li>・読譜力や聞き取りなど、音楽の基本的な知識・能力を身に付ける。</li> <li>・音楽に対する理解を深め、その文化的背景や歴史的背景を理解し、創造的に味わう。</li> </ul>		
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)	
1	① 歌唱表現へのアプローチ 『魚津工業高校校歌』、『翼をください』、『我が太陽』、『カーロ ミオ ベン』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌の音楽の特徴や歌詞の意味を理解して歌い暗唱する。</li> <li>・既習曲を通して、表現を深める。【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・歌詞の気持ちを読みとり、表現を工夫して歌う。【思考・判断・表現】</li> <li>・部分的に二部合唱を導入して、ハーモニーを生かして歌う喜びを味わう。【知識・技能】</li> <li>・曲の特徴を把握し、表現を工夫する。【思考・判断・表現】</li> <li>・カンツォーネの特徴に着目し、のびやかな発声や強弱の付け方を工夫して歌唱する。【知識・技能】</li> </ul>	
	② 音楽の特徴をとらえよう バレエ音楽『ボレロ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲中に出てくる2つの旋律の違いを理解し、譜例や図を見ながら意欲的に鑑賞する。【知識・技能】 【思考・判断・表現】</li> </ul>	
2	① ギターで弾き歌いに挑戦しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターの基礎的な奏法を正しく理解し、演奏する。【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・簡単なコードネームを理解し歌いながら演奏する。【知識・技能】 【思考・判断・表現】</li> <li>・曲の仕組みを理解し、手拍子の音色を工夫して表現する。</li> <li>・各パートの役割を理解して正しいリズムでアンサンブルに取り組む。</li> </ul>	
	② リズムアンサンブルを楽しもう 『Clapping Quartet No.1』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の仕組みを理解し、手拍子の音色を工夫して表現する。</li> <li>・各パートの役割を理解して正しいリズムでアンサンブルに取り組む。【知識・技能】 【思考・判断・表現】</li> </ul>	
3	① 歌舞伎舞踊の音楽の特徴を感じ取ろう 『京鹿子娘道成寺』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎『京鹿子娘道成寺』を鑑賞し、歌舞伎舞踊と長唄に親しむ。【思考・判断・表現】</li> </ul>	
	② 篠笛に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篠笛の基本的な奏法を身に付け、簡単な曲が吹けるようになることで篠笛に親しみ、日本の音楽の特徴を感じ取ることができる。【知識・技能】 【思考・判断・表現】</li> </ul>	
評価	(1) 毎時間の授業に取り組む姿勢や態度 (2) 課題の提出及び内容 (3) 実技発表及び試験の結果 (4) 出席状況 上記の(1)～(4)の総合評価で判断する。		



## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科選択	芸術・美術 I	2	日本文教出版・高校生の美術 1
学習目標	・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。		
学期	学習項目(単元名)	学 習 内 容 (ね ら い)	
1	絵画 「身近なものを描く」 ・鉛筆描写の基礎練習 ・鉛筆デッサン (葉、果物など身近なもの)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフをしっかりと観察することを意識し、集中して描く。</li> <li>・モチーフの形体や色、質感などの特徴を捉えて描く。</li> <li>・光の方向を意識して陰影をつけたり、形に添ってハッチングすることによって形態を立体的に表す。 【思考・判断・表現】 【主体的に取り組む態度】</li> </ul>	
	デザイン 「文字の工夫とポスター」 ・絵文字の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の仕組みやその考え方を学び、豊かな色彩感覚を身に付ける。</li> <li>・色や形の視覚的な働きを利用して、意思や思想を相手に伝える感性を養う。 【思考・判断・表現】 【主体的に取り組む態度】</li> </ul>	
	映像メディア表現 「アニメーションの手法」 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメーションの手法、歴史を学習する。 【関心・意欲・態度】</li> </ul>	
2	彫刻 「彫刻の魅力」 ・鑑賞 ・レリーフの制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彫刻における道具と表現方法について学習する。</li> <li>・ビデオ鑑賞を通じて彫刻についての理解を広める。</li> <li>・立体的に物を捉える能力を養う。 【思考・判断・表現】 【主体的に取り組む態度】</li> </ul>	
	絵画 「人物を描く」 ・鑑賞 ・自画像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の内面を見つめ、主体的に主題を生成し、色彩や形体などの構想を練る。【思考・判断・表現】</li> <li>・アクリル絵具の使い方や特徴について理解し、重ね塗り、タッチ、マチュールなど表現を工夫し、思いを表現する。 【思考・判断・表現】 【主体的に取り組む態度】</li> <li>・友達の作品を鑑賞し、良さや工夫点、作者の思いなどを感じ、言葉で表現する。</li> </ul>	
3	「デザインとは」 「キャラクターのデザイン」 ・起き上がり小法師の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地の伝統工芸についての興味関心を高める。 【思考・判断・表現】 【主体的に取り組む態度】</li> </ul>	
評価	・自分の思いや考えが表現できるよう構想を練り、形体や色彩を創意工夫することができたか。また、作品鑑賞では、自分の感じた事を文章などで表現することができたか。		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科選択	芸術・書道 I	2	光村図書出版・書 I
学習目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。		
学期	学習項目(单元名)	学習内容・評価規準 【知識・技術】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	
1	書道で学習すること 書写から書道へ 仮名の書 1. はじめに 仮名の成立と種類 2. 文字の造形を学ぶ 仮名の筆使い 平仮名 変体仮名 蓬萊切 高野切第三種 3. 構成を学ぶ 継色紙 寸松庵色紙 升色紙 4. 創作する 古筆を生かした創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道の三分野を確認し、臨書・鑑賞・創作の学習を通して、自己の創造的な表現に生かすことを理解する。</li> <li>・臨書の方法、拓本に関する基礎的な知識を身に付ける。</li> <li>・筆使い、字形、文字の大きさや配列など、小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する。</li> <li>・横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど、仮名の基本的な用筆・運筆を理解する。</li> <li>・平仮名の字源を知り、正確に字形を捉える。</li> <li>・平仮名と変体仮名を比較し、平仮名と同じ字源・違う字源の変体仮名をそれぞれ確認する。</li> <li>・「蓬萊切」を鑑賞し、端正な字形や清らかで平明な線がもたらす品格の高い書風を感じ取る。</li> <li>・「古筆の主な特徴」を参考に、古筆の用筆や仮名遣いの特徴を理解し、変体仮名の読み方を確認する。</li> <li>・「高野切第三種」を鑑賞し、伸びやかな線質や、流れるような連綿がもたらす典型的な仮名の美を感じ取る。</li> <li>・伸びやかな用筆・運筆を意識して臨書する。</li> <li>・文字群と余白の位置、字間・行間、文字の大きさ、線の太さの変化などの観点で、それぞれの紙面構成の特徴を確かめ、その効果を理解する。</li> <li>・創作の手順を理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	
2	漢字の書 1. はじめに 漢字の変遷とさまざまな書体 【楷書】 あなたは、どの楷書が好き？  唐の四大家に学ぶ楷書の基本  孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 【行書】 蘭亭序 風信帖  3. 創作する 古典を生かした創作 篆刻 刻字 篆刻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字には五つの書体があることを理解する。</li> <li>・文字から受ける印象と、それを形成する要素(字形や線質、点画などの特徴)を関連付け、自分の言葉でまとめる。</li> <li>・唐の四大家の代表作を知り、4種類の文字を書道史において果たした役割や位置づけに関連付けて理解する。</li> <li>・四つの古典を鑑賞し、書風を感じ取る。</li> <li>・用筆や字形を意識して臨書する。</li> <li>・行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。</li> <li>・筆脈と抑揚を意識して臨書する。</li> <li>・空海の人物像や書道史における位置づけについて理解する。</li> <li>・創作の手順を理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・「さまざまな姓名印」「落款と落款印」を鑑賞し、構想や表現に生かす。</li> <li>・白文印か朱文印かを選び、印を制作する。【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	
3	漢字仮名交じりの書 1. はじめに 漢字仮名交じりの書とは 心に響く言葉を書く 2. 創作する 好きな言葉を書こう  適宜 書写・書道の基本 生活の中の書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字仮名交じりの書の作例を鑑賞し、漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を確認する。</li> <li>・作品を鑑賞し、それぞれの表現のよさを味わうとともに、次時からの創作への見通しをもつ。</li> <li>・創作の手順を理解する。</li> <li>・古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かし、書体・書風、紙面構成、用具・用材などの観点で作品の構想を練る。</li> <li>・試作を重ね、表現を工夫し、落款を入れて作品を仕上げる。</li> <li>・作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・「書写で学習したこと」「書くときの姿勢」「筆の持ち方・構え方」「用具・用材と扱い方」について理解する。</li> <li>・「手紙の書き方」「封筒の書き方」「はがきの書き方」など、定型書式の書き方を確認する。</li> <li>・「一筆箋の書き方」「送り状の書き方」「履歴書の書き方」「表書きの書き方」など、生活の中の書の書き方を確認する。【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	
評価	出席 作品・課題の提出 【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名	
1 学年全科	外国語・英語コミュニケーション I	3	開隆堂・Amity English Communication I	
学習 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解することができる。</li> <li>・相手に伝える基礎的な能力を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。</li> </ul>			
学期	学習項目(单元名)	学習内容 (ねらい)	考查 範囲	
1	Get Ready ①～④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や他者の紹介、好きな物や興味ある事の紹介、友人との会話などの身近な表現を通して中学英語表現の復習をする。【知識・技能】</li> <li>・基本的な疑問文と否定文を理解している。【知識・技能】</li> </ul>	中間 考查	
	Lesson1 The Beautiful Scenery	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お気に入りの場所についてまとめたものを発表する。【思考・判断・表現】</li> <li>・主語/動詞の役割およびbe動詞と一般動詞の現在形などの働きを理解する。【知識・技能】</li> </ul>		
	Lesson2 My Best Friend Lesson3 Love for Dance	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大切にしている人についてまとめて発表する。【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・動詞の過去形の用法を理解する。【知識・技能】</li> <li>・絵や写真を見て思ったことについてまとめて発表する。【思考・判断・表現】</li> <li>・進行形と助動詞の用法について理解する。【知識・技能】</li> </ul>	期末 考查	
2	Lesson4 Endangered Species Lesson5 The History of Chocolate	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間と動物の関係についての文を理解し、動物に対する人間の責任についての考えを簡潔にまとめて話す。【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・不定詞の用法について理解する。【知識・技能】</li> <li>・チョコレートの歴史について進んで話し合う。【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・動名詞の用法について理解する。【知識・技能】</li> </ul>	中間 考查	
	Lesson6 Our School Lesson7 Serendipity	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな教科や描かれたイラストについてやり取りしたり、学科やクラブについてまとめて発表する。【思考・判断・表現】</li> <li>・原級、比較級、最上級の比較表現について理解する。【知識・技能】</li> <li>・相手の生活や経験などについてやり取りしたり、セレンディピティについてまとめて発表する。【思考・判断・表現】</li> <li>・現在完了形 (have [has]+過去分詞) の基本的な用法について理解している。【知識・技能】</li> </ul>	期末 考查	
3	Lesson8 Sapeurs Lesson9 Special Makeup Effects Lesson10 Clean Water	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装や平和のシンボルについてやり取りしたり、大切なものについてまとめて発表する。【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・受動態 (be動詞+過去分詞) の基本的な用法について理解する。【知識・技能】</li> <li>・好きな俳優や映画について自主的に調べて、それらを紹介する。 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・分詞 (現在分詞/過去分詞) の基本的な用法について理解する。【知識・技能】</li> <li>・好きな飲み物や平和に寄与した有名人や将来の夢などについてやり取りしたり、水分の摂り方について説明する。【思考・判断・表現】</li> <li>・関係代名詞 (who/which/that) の基本的な用法について理解したうえで、1文を完成させる。 【知識・技能】</li> </ul>	学年 末 考查	
	評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲、学習態度、学習に取り組む姿勢 (授業ノート・発問や質疑応答の状態) を評価する。</li> <li>・定期考查の成績、課題等提出物の内容や提出状況、授業中の態度などで、学習内容の理解度、定着度を評価する。</li> </ul>		

# シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
2 学年全科	家庭・家庭基礎	2	第一学習社・高等学校 家庭基礎 －持続可能な未来をつくる－
学習目標	ライフスタイルの多様化が進む中で、男女がともに主体的に生活を営み、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けます。		
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)	考査 範囲
1	1章 これからの生き方と家族 3章 充実した生涯へ 4章 とともに生きる 7章 住まう	《ガイドンス》 「家庭基礎」の学習の進め方と学校家庭クラブ活動とホームプロジェクトについて ・ライフステージごとに発達課題と、自然環境や社会環境と生活のあり方を確認します。 【思考・判断・表現】	第1学期  期末考査
	6章 衣生活をつくる 1節 人に一生と被服 2節 被服材料と管理	・私たちの暮らしと被服の関係を学習します。 ・手縫いの基礎やボタン付け、マスコット製作を通して技術を習得します。 ・被服の選択と手入れを学習します。 【主体的】 【知識・理解】 【技能】	
	5章 食生活をつくる 1節 人の一生と食事 2節 栄養と食品 3節 食生活の安全のために	・栄養素と食品について学習し、何をどれだけ食べればよいかを理解します。 ・食品の安全・衛生について学習します。 ・表示をみて食品を選ぶことを学習します。 【知識】 【思考・判断・表現】	
2	ホームプロジェクト	・夏休み中の取組みを発表します。 【思考・判断・表現】	第2学期  期末考査
	5章 食生活をつくる 4節 食生活をデザインする	・食事作りの手順を学び、自分の家庭生活で実践する能力を身に付けます。 ・朝食と昼食(弁当)の献立を考え、実際に調理実習を行い、調理技術を習得します。《調理実習3回》 【技能】 【主体的】	
	2章 次世代をはぐくむ 1節 子どもの発達  2節 子どもの生活	・保育の学習の意義について理解します。 ・生命誕生の神秘を学習します。 ・乳幼児期の発達の重要性を理解します。 ・乳幼児期の生活について学習します。 ・幼児虐待の実態を調べ、社会的背景や対策について学習します。 【思考・判断・表現】 【知識】 【主体的】	
3	3節 子育て支援と福祉	・少子化の現状とその背景を学習します。 ・地域の子育て支援を調べ、子どもの保育環境を学習します。 【知識】 【思考・判断・表現】 【主体的】	学年末考査
	8章 経済生活をつくる 1節 私たちの暮らしと経済 2節 消費者問題を考える  3節 持続可能な社会をめざして	・家庭経済の仕組みやあり方を学習します。 ・ひとり暮らしや社会人となった自分を想定し、消費行動を考えます。 ・契約トラブルなどの消費者被害の実態を調べ消費者としての自覚と責任について理解を深めます。 ・進展する情報化社会の課題や消費行動と環境問題との関係について具体的事例を通して学習します。 【知識】 【思考・判断・表現】 【主体的】	
	生活をデザインしよう	・自分らしいライフプランを考えます。 【思考・判断・表現】	
評価	1.学習に取り組む姿勢(主体的に取り組む態度) 2.授業プリント(思考・判断・表現)や作品(知識・技能)の提出状況と内容の確認 3.期末考査の成績(知・技) (思・判・表) 1～3を総合的に評価します。		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
機械科 1 年	工業・工業技術基礎	3	実教出版・工業技術基礎 実教出版・新版 機械実習 1 自主教材等
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりのための工作機械の操作やいろいろな加工に関する基礎的な知識や技能を習得する。</li> <li>実習を通し、機械技術者として主体的に問題解決に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>		
学期	学習項目(单元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	オリエンテーション 安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業技術基礎の学習内容と取り組み方法について</li> <li>工業技術基礎及び実習における安全について</li> </ul> <b>【知識・技術】 【思考・判断・表現】</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>	期末
	旋盤加工 I	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本操作（外周切削、端面切削）</li> <li>安全作業について</li> </ul>	
2	情報処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>C言語による簡単なプログラムの作成</li> <li>変数、条件分岐、繰り返し</li> </ul>	期末
	測定基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノギス、マイクロメータの取扱いと測定方法</li> </ul>	
3	フライス盤加工 I	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本操作（正面フライスによる平面加工）</li> <li>機械の理解</li> <li>安全作業について</li> </ul> <b>【知識・技術】 【思考・判断・表現】</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>	期末
	手仕上げ実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>文鎮の製作</li> <li>手仕上げ用道具（弓のこ、ヤスリ）の正しい使い方</li> <li>タップ、ダイスによるねじ立て</li> </ul>	
	旋盤加工 II	<ul style="list-style-type: none"> <li>段付き丸棒の製作</li> <li>センター穴加工</li> <li>加工工程を考える</li> </ul>	期末
	鋳造実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>生砂による鋳型の成型</li> <li>亜鉛合金の鋳込み</li> </ul>	
	フライス盤加工 II	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料の角出し</li> </ul> <b>【知識・技術】 【思考・判断・表現】</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>	
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査での理解度の確認による評価</li> <li>各実習での学習の態度および課題、作品の完成度による評価</li> <li>レポートの内容と提出状況による評価</li> </ul>		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
機械科1年	工業・工業情報数理	2	実教出版・工業情報数理
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。</li> <li>・情報技術に関する基礎的な知識や技術を習得する。</li> <li>・工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身に付ける。</li> </ul>		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	第1章 産業社会と情報技術 1 コンピュータの構成と特徴 2 情報化の進展と産業社会 3 情報化社会の権利とモラル 4 情報のセキュリティ管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの基本構成や特徴について理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・コンピュータとネットワークの発達が効率的なコンピュータシステム利用や環境保護に貢献していることを理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】</li> <li>・知的財産権、プライバシーの保護等々、権利を守ることやモラルの重要性を理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】</li> </ul>	中間 考 査
	第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア 1 ソフトウェアの基礎 3 アプリケーションソフトウェア 第3章 プログラミングの基礎 1 プログラム言語 2 プログラムの作り方 3 流れ図とアルゴリズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトウェアの分類とオペレーティングシステムの目的および基本操作について理解する。【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・どのようなアプリケーションソフトウェアがあるか理解し、実際に使う。【知識・技術】 【思考・判断・表現】</li> <li>・プログラム言語の種類を理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】</li> <li>・問題解決の手段としてのアルゴリズムやプログラムの作成の意味を理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・順次・選択・繰返しの三つの基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義を理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	
2	第5章 Cによるプログラミング 1 Cの特徴 2 四則計算のプログラム 3 選択処理 4 繰返し処理 5 配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なプログラムによってCの特徴を理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・簡単な計算プログラムによってデータ型やデータの入出力方法などを理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・if文とswitch文、for文とwhile文を理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】</li> </ul>	中間 考 査
	第6章 ハードウェア 1 データの表し方 2 論理回路の基礎 3 処理装置の構成と動作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータで用いるデータの表し方について理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・2値で演算や制御を行う論理回路の基本について理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】</li> <li>・コンピュータの構成、処理装置の動作について理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	
3	第7章 コンピュータネットワーク 1 コンピュータネットワークの概要 2 コンピュータネットワークの通信技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なコンピュータネットワークについて理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・コンピュータネットワークに必要な通信技術や技術的な約束事について理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】</li> </ul>	学 年 末 考 査
	第8章 コンピュータ制御 1 コンピュータ制御の概要 2 制御プログラミング 情報I コミュニケーション手段 情報I 情報デザイン 第10章 数理処理 1 単位と数理処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ制御の考え方について理解する。【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・コンピュータ制御の具体的な方法について理解する。【知識・技術】</li> <li>・コミュニケーション手段について科学的に理解する。【知識・技術】</li> <li>・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解するとともに、情報デザインの考え方や方法を理解する。【思考・判断・表現】</li> <li>・量の名称・量記号・単位(SI)について理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】</li> </ul>	
評価	定期考査評価・課題テスト評価、課題レポート評価・提出物(ノート、プリント等)による学習内容の理解度、定着度および学習状況(出席状況・授業態度・参加意識等)などを参考に総合的に評価する。		

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
機械科3年	工業・課題研究	3	各自の課題による参考図書
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマを設定し、完成までの役割分担や問題解決などグループで協力して取り組む態度を養う。</li> <li>・実習で学習した機械加工の技術を基に、粘り強く創意工夫して設計製作に取り組む態度を養う。</li> </ul>		
学期	学習項目(单元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	班編成 テーマ設定  研究計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の希望するテーマを集約し、班を編成する。</li> <li>・担当教員と相談の上、研究テーマを決定する。</li> <li>【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】</li> <li>・全体の構想を練る。</li> <li>・必要な資料などを収集する。</li> <li>・研究の概要を決定し、設計あるいは実験・研究方法を検討する。</li> <li>・使用部品の選択や購入部品を決定する。</li> <li>・細部の設計と製作図を作成する。</li> <li>【思考・判断・表現】 【知識・理解】</li> </ul>	
2	製作と改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班で設計製図したモデルを基に、部品製作に取り組む。</li> <li>・加工部品を組み立てる。</li> <li>・試作と改良を加える。</li> <li>・性能検査または実使用による運用検査を行う。</li> <li>・完成品の見直しと改良を加える。</li> <li>【関心・意欲・態度】 【技能】</li> <li>【思考・判断・表現】 【知識・理解】</li> </ul>	
3	課題研究発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の成果をまとめる。</li> <li>・パワーポイントによる発表原稿を作成する。</li> <li>・課題研究発表会で、研究発表を行う。</li> <li>・研究内容をレポートにまとめ提出する。</li> <li>【思考・判断・表現】 【知識・理解】</li> <li>【関心・意欲・態度】</li> </ul>	
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究や製作に取り組む態度や班員との協調性、および課題解決能力などを評価する。</li> <li>・研究成果のまとめ方やプレゼンテーション能力を、レポートや発表などで評価する。</li> </ul>		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
電気科1年	工業・工業技術基礎	3	実教出版 工業技術基礎 実教出版 電気・電子実習1
学習目標	工業の電気分野に関する基礎的技術を実験・実習によって体験し、工業技術への興味・関心を高め、工業の社会的な意義や役割を理解するとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を学ぶ。		
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容	考查範囲
1 学期	オリエンテーション①  オリエンテーション②  第1ローテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・実習を行うにあたっての心構え</li> <li>・安全講習</li> <li>・工業数学</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計器・機械器具の取り扱いと配線の仕方</li> <li>・レポートの作成方法、グラフの作成方法</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種工具の取扱いと基本作業（ハンダ付け）</li> <li>・関数電卓の使用法</li> <li>・オームの法則・キルヒホッフの法則</li> <li>・情報活用の基礎</li> </ul> <p style="text-align: right;">4 班編制</p>	期末 考查
2 学期	第2ローテーション  第3ローテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスターの製作1</li> <li>・電気工事基本作業1</li> <li>・抵抗の直並列回路・ホイートストンブリッジ</li> <li>・情報処理1</li> </ul> <p style="text-align: right;">4 班編制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テスターの製作2</li> <li>・電気工事基本作業2</li> <li>・論理回路</li> <li>・情報処理2</li> </ul> <p style="text-align: right;">4 班編制</p>	期末 考查
3 学期	第4ローテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回路計とオシロスコープの使用法</li> <li>・3Dプリンター制作実習</li> <li>・電気工事の複線図と組立て</li> <li>・マイコン制御実習I</li> </ul> <p style="text-align: right;">4 班編制</p>	期末 考查
評価	<p>【知識・技術】 学習状況（予習、取組状況、理解度など）を評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 読み手のことを考え、授業で学んだ内容を的確に表現したレポートを書くことができる。 考察課題について、学んだ知識や数式など根拠を示しながら説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 レポートを期限通りに提出できる。 適切な準備を行い、積極的に実習課題に取り組むことができる。 活動を振り返り、反省や改善点をまとめ、問題解決に取り組むことができる。</p> <p>以上を参考に総合的に評価する。</p>		



## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
電気科1年	工業・工業情報数理	2	実教出版・工業情報数理
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。</li> <li>・情報技術に関する基礎的な知識や技術を習得する。</li> <li>・工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身に付ける。</li> </ul>		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	第1章 産業社会と情報技術 1 コンピュータの構成と特徴 2 情報化の進展と産業社会 3 情報化社会の権利とモラル 4 情報のセキュリティ管理  第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア 1 ソフトウェアの基礎 3 アプリケーションソフトウェア  第3章 プログラミングの基礎 1 プログラム言語 2 プログラムの作り方 3 流れ図とアルゴリズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの基本構成や特徴について理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・コンピュータとネットワークの発達が効率的なコンピュータシステム利用や環境保護に貢献していることを理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】</li> <li>・知的財産権、プライバシーの保護等々、権利を守ることやモラルの重要性を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】</li> <li>・ソフトウェアの分類とオペレーティングシステムの目的および基本操作について理解する。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・どのようなアプリケーションソフトウェアがあるか理解し、実際に使えるようになる。【知識・技術】【思考・判断・表現】</li> <li>・プログラム言語の種類を理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】</li> <li>・問題解決の手段としてのアルゴリズムやプログラムの作成の意味を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・順次・選択・繰返しの三つの基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>	中間 考查
	第5章 Cによるプログラミング 1 Cの特徴 2 四則計算のプログラム 3 選択処理 4 繰返し処理 5 配列  第6章 ハードウェア 1 データの表し方 2 論理回路の基礎 3 処理装置の構成と動作  第7章 コンピュータネットワーク 1 コンピュータネットワークの概要 2 コンピュータネットワークの通信技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なプログラムによってCの特徴を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・簡単な計算プログラムによってデータ型やデータの入出力方法などを理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・if文とswitch文、for文とwhile文を理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】</li> <li>・配列の宣言や使用方法を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・コンピュータで用いるデータの表し方について理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・2値で演算や制御を行う論理回路の基本について理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】</li> <li>・コンピュータの構成、処理装置の動作について理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・身近なコンピュータネットワークについて理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・コンピュータネットワークに必要な通信技術や技術的な約束事について理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】</li> </ul>	中間 考查
3	第8章 コンピュータ制御 1 コンピュータ制御の概要 2 制御プログラミング 情報I 情報デザイン 第10章 数理処理 1 単位と数理処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ制御の考え方について理解する。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・コンピュータ制御の具体的な方法について理解する。【知識・技術】</li> <li>・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解するとともに、情報デザインの考え方や方法を理解する。【思考・判断・表現】</li> <li>・量の名称・量記号・単位(SI)について理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】</li> </ul>	学 年 末 考 査
評価	定期考査評価・課題テスト評価、提出物(ノート、プリント等)による学習内容の理解度、定着度及び学習状況(出席状況・授業態度・参加意識等)などを参考に総合的に評価する。		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
電気科3年	工業・課題研究	3	配布プリント、自作教材など
学習目標	電気・電子全般にわたって基本的な知識の習得と、グループでの研究活動を通し、学習活動に対して主体的に取り組む態度を養う。		
学期	学習項目(単元名)	学習内容	
1 学期	オリエンテーション	・オリエンテーション	
	製作に必要な技術の習得	・グループに分かれ、マイコンなどの必要な知識・技能を身に付ける。 【技能】【知識・理解】	
	研究グループの決定	・班編制を行い、各班の興味のあるテーマに基づいて研究テーマを決定する。 【関心・意欲・態度】	
	アイデアの導出 情報資料の収集	・グループごとに情報や資料を集め、アイデアを出し、試作や実験を行う。 【思考力・判断力・表現力】【知識・理解】	
	試作品の作成	・グループごとにアイデアを活かした試作品を作成する。 【思考力・判断力・表現力】【技能】	
2 学期	中間発表会	・1学期末に、中間発表会を行い、製作物や研究成果について、報告を行う。 【関心・意欲・態度】【思考力・判断力・表現力】	
	製作開始	・設計、部品調達及び製作において各班員の役割分担を決め、製作にとりかかる。	
	作品の調整・改良	・製作した作品について、試走を行い、改良を加える。 【思考力・判断力・表現力】【技能】【知識・理解】	
	作品の完成 後期発表会	・2学期末に製作物を完成させる。 ・製作物や研究成果について、後期発表会を行う。ここまでの成果について、自己評価や相互評価を行う。 【関心・意欲・態度】【思考力・判断力・表現力】【知識・理解】	
3 学期	最終発表会 報告書提出	・1月下旬に他学年の生徒を見学に加えた後期発表会を行い、相互評価、完成作品、研究成果をプレゼンテーションする。相互評価や自己評価を行う。 【思考力・判断力・表現力】【知識・理解】	
		・最終報告書を下書き、清書し、提出する。 【関心・意欲・態度】	
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究や製作に取り組む態度や班員との協調性、及び課題解決能力などを評価する。</li> <li>・研究成果のまとめ方やプレゼンテーション能力を、レポートや発表などで評価する。</li> </ul>		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
情報環境科1年	工業・工業技術基礎	3	実教出版・工業技術基礎
学習目標	工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験し、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解するとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を学びます。		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋盤</li> <li>・計測</li> <li>・石けん製造</li> <li>・pH測定</li> <li>・総合実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋盤の基本操作を身に付けます。 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技術】</li> <li>・端面切削、側面切削を体験します。 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技術】</li> <li>・ノギス、マイクロメータなどの測定器具の構造や使い方を学びます。 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技術】</li> <li>・廃油から石けんを製造します。 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技術】</li> <li>・ガラス細工を行い、ガラス棒とスポイトを作ります。 【知識・技術】</li> <li>・紫キャベツから指示薬を取り出し、酸と塩基の性質を学びます。 【主体的に学習に取り組む態度】【思考・判断・表現】 【知識・技術】</li> <li>・ねじ切り加工(タップ)を体験します。</li> <li>・バフ研磨加工を体験します。 【知識・技術】</li> <li>・メッキ加工を体験します。 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技術】</li> </ul>	期末
後半	<電子機械コース> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋盤</li> <li>・フライス盤</li> <li>・CAD</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段付き丸棒の製作をします。 【知識・技術】</li> <li>・テーパ加工をします。 【知識・技術】</li> <li>・フライス盤の基本操作を身に付けます。 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技術】</li> <li>・角出し作業手順を身に付けます。 【知識・技術】</li> <li>・CADの基本操作を身に付けます。 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技術】</li> <li>・簡単な図面を描いて出力します。 【思考・判断・表現】【知識・技術】</li> </ul>	期末
	<化学工業コース> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固体試薬の計量・調製</li> <li>・液体試薬の計量・調製</li> <li>・固体試薬の確認</li> <li>・液体試薬の確認</li> <li>・水の蒸留、硫酸銅の再結晶</li> <li>・水質検査、プレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固体試薬の計量の仕方とその水溶液の作り方を学び、濃度を計算します。 【知識・技術】</li> <li>・液体試薬の計量の仕方と薄め方を学び、濃度を計算します。 【知識・技術】</li> <li>・固体試薬の水溶液の性質を確認します。 【思考・判断・表現】【知識・技術】</li> <li>・水で薄めた液体試薬の性質を確認します。 【思考・判断・表現】</li> <li>・不純物が入った水を蒸留し、純粋な水を取り出し、不純物を取り除く方法を学びます。 【思考・判断・表現】【知識・技術】</li> <li>・水に含まれる成分を探し出します。 【思考・判断・表現】</li> <li>・プレゼンテーションソフトの基礎を学びます。 【思考・判断・表現】【知識・技術】</li> </ul>	学年末
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考查の成績、課題提出状況、授業態度などで学習内容の到達度や理解度を評価する。</li> <li>・前半は全員5項目実施、後半は各コースごとに実施します。</li> <li>・考查は期末考查ごとに終了している項目分を行います。</li> <li>・定期考查の得点と、レポートの提出状況と内容、作業態度等を総合的に評価します。</li> </ul>		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
情報環境科1年	工業・工業情報数理	2	実教出版・工業情報数理
学習目標	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解するとともに、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、情報及び情報手段を活用する能力と態度を学ぶ。		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	第1章 産業社会と情報技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報と生活、コンピュータの特徴に関心を持ち、どのように利用されているか。</li> <li>コンピュータの特徴、構成、発達</li> <li>情報化の進展と産業社会</li> <li>情報化社会の進展とモラル</li> <li>情報セキュリティー管理</li> </ul> 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】	中間
	第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア	アプリケーションソフトウェアに共通する基本的な操作に興味を持ち、使いこなす技能を習得する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの基本的な操作</li> <li>ソフトウェアの基礎</li> <li>アプリケーションソフトウェア</li> </ul> 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】	期末
2	第3章 プログラミングの基礎	基本的なプログラムを作成し、実行する技能を習得する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの基礎、作り方</li> <li>流れ図とアルゴリズム</li> </ul> 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】	中間
	第5章 Cによるプログラミング	Cはコンパイラ言語であり、関数などCの特徴に関心がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Cの特徴 ・四則計算のプログラム</li> <li>分岐処理、繰り返し処理 ・配列・関数</li> </ul> 【主体的に学習に取り組む態度】 【思考・判断・表現】 【知識・技術】	期末
3	第6章 ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの表し方</li> <li>論理回路の基礎・処理装置の構成と動作</li> </ul> 【主体的に学習に取り組む態度】 【思考・判断・表現】 【知識・技術】	
	第7章 コンピュータネットワーク	コンピュータネットワークで使用するプロトコルに関心があり、簡単な接続をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータネットワークの概要</li> <li>コンピュータネットワークの構成</li> <li>コンピュータネットワークの通信技術</li> <li>コンピュータ制御の基礎</li> </ul> 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】	
	第8章 コンピュータ制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション手段について科学的に理解する。</li> </ul> 【知識・技術】	期末
	情報I コミュニケーション手段 情報I 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解するとともに、情報デザインの考え方や方法を理解する。</li> </ul> 【思考・判断・表現】	
	第10章 数理処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>量の名称・量記号・単位(SI)について理解する。</li> </ul> 【知識・技術】 【思考・判断・表現】	
評価	定期考查とノート、提出物、授業態度等を総合的に評価する。		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
情報環境科 3年 電子機械コース	工業・課題研究	3	自作教材
学習 目標	3年間の学習の成果（設計、加工、組立、制御）を具現化する目的で、6名（5名）1班で、テーマに沿ったロボットを製作する。 3学期には競技大会を開催し成果を発表する。併せて、製作過程等を発表することでプレゼンテーション能力を身に付ける。		
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)	考査 範囲
1	①テーマの設定  ②ロボットの設計Ⅰ (製図・アイデア集約)  ③中間発表(構想の概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体会や班長会と通じて取り組むテーマの選定を行う。</li> <li>設計技術を身に付けるため製図の描き方を学ぶ。</li> <li>レギュレーションに沿った機構について考える。</li> <li>班毎に考えてきた機構について報告書にまとめる。</li> <li>スケッチ製図等視覚的に訴える内容とする。</li> </ul> <p>【関心・意欲・態度】 【知識・理解】</p>	期末
2	①ロボットの設計Ⅱ (設計図、制作図の作成)  ②ロボット制作 (部品製作、組立て、調整)  ③発表資料の作成 (プレゼンテーションソフトの利用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CAD等を使用して図面を作成する。</li> <li>図面を元に部品の機械加工を行う。</li> <li>部品を組み立て、干渉部分の手直しを行う。</li> <li>設計図、作成部品の画像などを取り入れてプレゼンテーションデータを作成する。</li> </ul> <p>【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】</p>	期末
3	①発表練習  ②校内アイデアロボット競技会 (プレゼンテーションと競技会)  ③まとめ (報告書の作成、工具整備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表練習に並行して操作練習を行う。</li> <li>ロボットの機構等の説明と操作</li> <li>最終的な報告書を作成する。</li> <li>図面や写真を取り入れる。</li> </ul> <p>【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】</p>	期末
評価	定期考査、中間発表、製作態度、報告書等総合的に判断する。		

## シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
情報環境科3年 化学工業コース	工業・課題研究	3	自作教材等 実教出版・新版 工業化学実習1
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間に学習した内容を基礎として、各々のテーマについて研究・製作を行う。</li> <li>・原稿やプレゼンを作成し、班ごとに研究を行ったテーマについて発表する。</li> </ul>		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	題材学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の課題テーマについて学習し、今年度のテーマ選定について検討する。</li> <li>・有機合成実験を通して学習した、化学薬品や化学実験器具の使用法・化学反応の機構についての復習を行う。</li> <li>・機器分析で学習した、機器の使用法を復習し、課題テーマへの利用方法について検討する。</li> <li>・定性分析や定量分析などの分析化学で学習した内容を、各自のテーマに活用できるよう復習する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【関心・意欲・態度】 【知識・理解】</p>	期末考查
2	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ(3～4名)に分かれて、3年間に学習した内容を基礎としてテーマを決め、そのテーマについてそれぞれ研究・製作を行う。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】</p>	期末考查
	中間発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターセッション形式で、現状の研究内容について発表する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】 【技能】</p>	
3	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表に向け、発表原稿やプレゼンの作成、発表練習を行う。</li> <li>・班ごとに研究を行ったテーマについて発表する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】 【技能】</p>	学年末考查
評価	<p>実験操作の能力、定期考查の成績、実習報告書の出来と提出状況、授業態度などで学習内容の到達度や理解度を評価する。</p>		